

IV 政策編 — 「重点戦略」の推進—

1 検討の視点

政策編に掲載する事業については、次の視点を重視して検討しました。

- ① 政策効果の観点からの優先度
- ② 市民所得の向上，税収増につなげる経済の活性化の視点
- ③ 未曾有の災害に対応する防災・減災の視点
- ④ 人口減少社会の克服と東京一極集中の是正の視点
- ⑤ 「京都らしさ，独自性」といった京都の都市特性や強みを生かす視点
- ⑥ 行政だけでなく，市民や企業等の参加と協働による「共汗」の視点
- ⑦ 効率的・効果的な政策を実現する複数の行政分野の「融合」の視点

2 政策編の構成

政策編は，11の重点戦略ごとに，次の構成としています。

- ① **京プランに掲げた基本的な考え方**
京プランに掲げた重点戦略の「基本的な考え方」を記載しています。
- ② **京プラン後半期における取組の方向性**
これまでの取組成果や課題，社会経済状況の変化等を踏まえた京プラン後半期の取組の方向性を記載しています。
- ③ **主な共汗指標**
重点戦略の達成度をはかるための数値目標を掲げています。
- ④ **重点プロジェクト**
重点戦略の具体的な推進事業の中から，特に重点的に取り組んでいく事業を掲げています。
- ⑤ **柱立てと具体的な推進事業**
重点戦略を推進する柱立ての下に具体的な事業を掲げています。

3 掲載事業数 307事業 経費推計の総額 約5,000億円

※ 経費は現時点での見込みであり，今後，「最少の経費で最大の効果」を基本に毎年度の予算編成において精査していきます。

11の重点戦略

- ・市民ぐるみで、くらしやまちの変化を実現する「低炭素・循環型まちづくり戦略」
- ・ひとと公共交通を優先する「歩いて楽しいまち・京都戦略」
- ・歴史都市の品格と魅力が国内外のひとびとを魅了する「歴史・文化都市創生戦略」
- ・魅力ある地域資源と既存の都市インフラを生かす「個性と活力あふれるまちづくり戦略」
- ・世界が共感する「旅の本質を追求する観光戦略」
- ・京都の知恵や価値観を生かした「新産業創造戦略」
- ・夢と希望がもてる「未来の担い手育成戦略」
- ・子どもと親と地域の笑顔があふれる「子どもを共に育む戦略」
- ・仕事と家庭，社会貢献が調和できる「真のワーク・ライフ・バランス戦略」
- ・だれもが参加したくなる「地域コミュニティ活性化戦略」
- ・安心・安全と生きがいを実感できる「いのちとくらしを守る戦略」